

2018年7月18日

東急不動産株式会社
株式会社東急リゾートサービス
東急リゾート株式会社

ここから、軽井沢の楽しみ方が変わる。
「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」
～2018年7月20日開業～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）が開発し、株式会社東急リゾートサービス（本社：東京都港区、社長：熊沢 基好）が運営、東急リゾート株式会社（本社：東京都港区、社長：伊藤 英明）が会員権販売を行う会員制リゾートホテル「東急ハーヴェストクラブ」の新たな施設である「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」を、長野県北佐久郡軽井沢町において2018年7月20日（金）に開業することをお知らせいたします。



東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA 外観

■ 発展する軽井沢塩沢エリア

日本を代表するリゾート地「軽井沢」の中でも、新たなリゾートの楽しみ方を発信する「軽井沢・塩沢エリア」。その中でも豊かな緑に包まれた塩沢湖を中心に、「自然、芸術、文学」と「遊ぶ」が融合したレジャー施設「軽井沢タリアセン」。「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」は、そんな「軽井沢タリアセン」に隣接した、浅間山を望む約5万㎡の広大な敷地に誕生します。また、宿泊者はホテルで交付する専用入園チケットにより「軽井沢タリアセン」に入園することができ、塩沢の魅力を多彩に楽しむことができます。



本ホテルの周辺には「ムーゼの森」、「軽井沢千住博美術館」など、散策しながら芸術を親しめる施設が集積しております。その他にも、通年型のカーリング場がある「軽井沢風越公園」、地元の農産物直売所「軽井沢発地市庭」、人気のレストランが点在する通称「グルメ通り」など、様々なリゾートの楽しみ方を発信する「塩沢エリア」に位置しており、本ホテルの開業によって更なる地域活性化に寄与できるよう推進してまいります。

■ 空と大地の広がり

東急不動産のリゾート事業では、「自然と人間の共存と調和」を基本理念として、自然環境に配慮した施設計画を進めております。本ホテルにおいては、軽井沢ならではの低層の建物計画によって広がる空の景色と、雄大な浅間山の眺望、保存や移植により既存樹木を生かした外構計画など、その土地の原風景をホテルの魅力として取り込んでおります。

特に趣の異なる2つの庭を配置している中庭は、一方は明るく緑が広がり、散策やアクティブに楽しめる開放的な庭(グリーンフィールド)、もう一方はひっそりとした軽井沢のイメージを踏襲した樹木豊かな庭(ガーデン)としており、敷地の緑化により周囲の自然に溶け込む設計としています。

そのようなランドスケープとあわせて、運び湯による温泉や人工炭酸泉を備えた露天風呂付大浴場や、嗜好にあわせて選べる和・洋・ブッフェの3つのダイニングなどの共用施設を充実させ、ゆったりとした寛ぎの時間を提供いたします。



ラウンジ



パブリック棟外観とグリーンフィールド



ガーデン



露天風呂付温泉大浴場

■ 特別な軽井沢を愉しむ、ふたつのリゾートスタイル

客室は、ご夫婦から三世代までご利用にあわせてバリエーション豊かに取り揃えた「ハーヴェスト」と、客室での寛ぎにこだわった全室バイバス付きの「VIALA」の2つのタイプをご用意しております。

今回は、「有馬六彩」、「熱海伊豆山」、「京都鷹峯」に続いて、同一施設内での2つの会員権（クラブ）がある「&VIALA」シリーズ第4弾となり、今後もお客さまのご要望にお応えする施設を展開していきます。

会員権募集においても総募集口数の8割以上の販売が終了し、当初の予想を大きく上回るペースで販売が進んでおります。



ハーヴェストクラブ客室



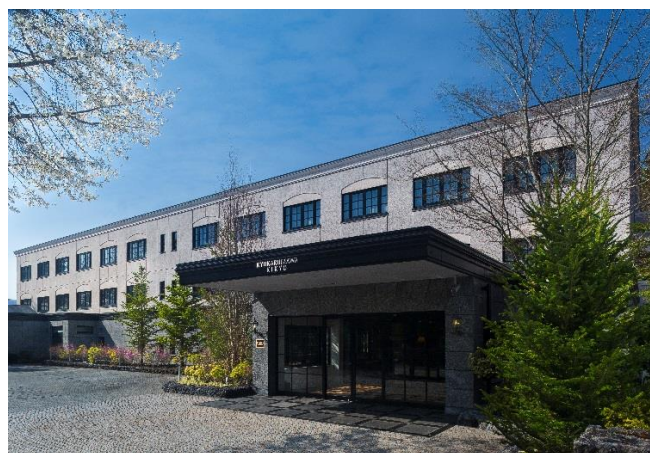
VIALA 客室

■ 軽井沢にて展開が進む、東急不動産のホテル事業

2001年7月、伝統ある旧軽井沢の地に「東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢」が誕生して以来、2007年には「東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢アネックス」、2018年4月にはヒルトン日本初進出のブランドホテルである「KYUKARUIZAWA KIKYO, Curio Collection by Hilton」など、東急不動産のホテル事業は軽井沢の地で展開が進んでおります。今回誕生する「東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA」もそのひとつ。国内外にある有数のリゾート地で多様な施設を展開してきたノウハウを生かし、軽井沢の地域特性を踏まえた更なる魅力付けに取り組んでおります。



東急ハーヴェストクラブ旧軽井沢



KYUKARUIZAWA KIKYO, Curio Collection by Hilton

■ 東急ハーヴェストクラブについて

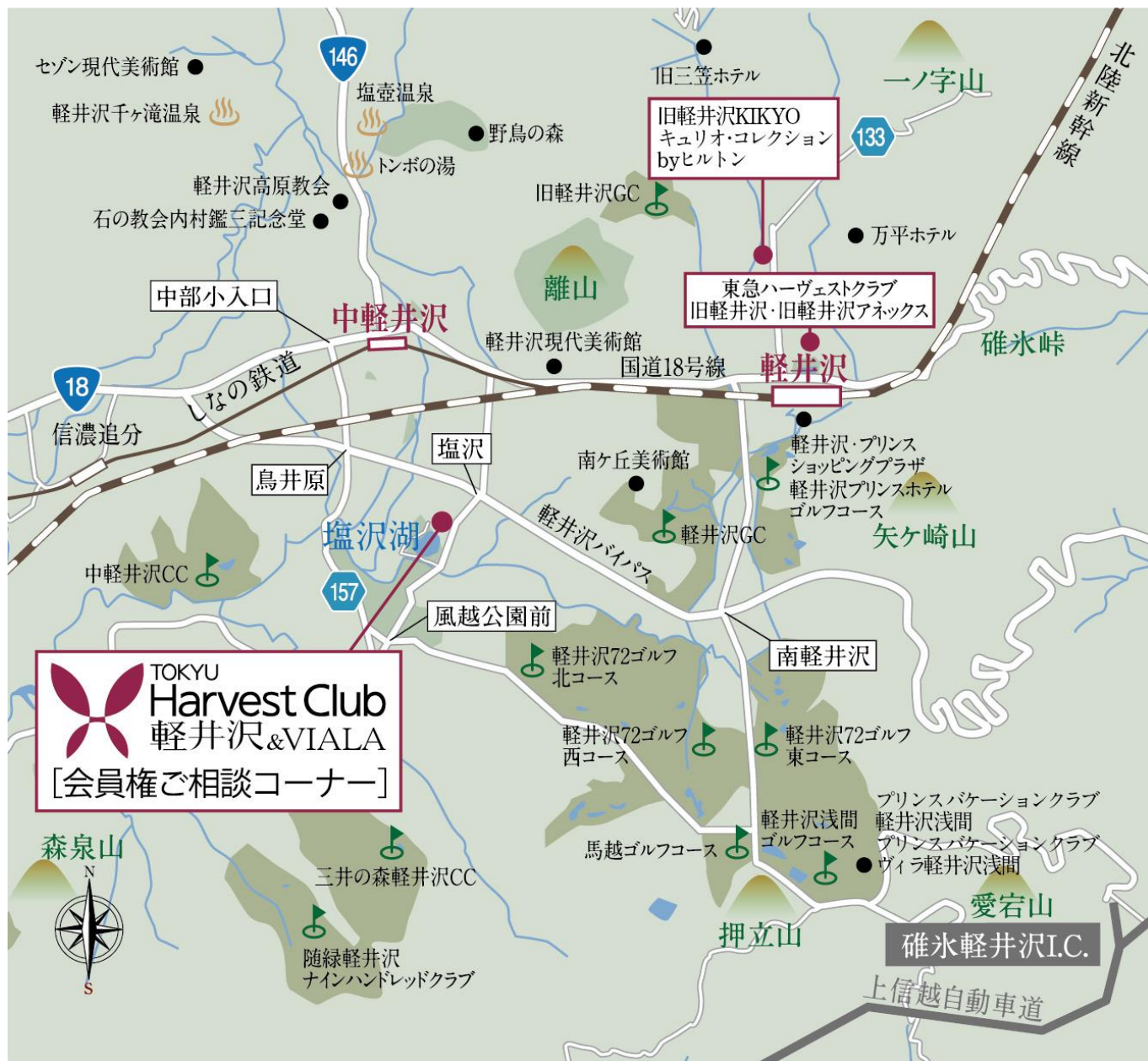
東急ハーヴェストクラブは、1988年に「別荘を持つ歓びとホテルで過ごす快適さ」のコンセプトのもと夢科で誕生し、今年で開業30周年を迎えます。開業後多くのお客さまに育てられながら全国で展開をしており、メンバーになったその日より、すべての施設のご利用が可能です。また、新規施設のみならず既存施設のブラッシュアップにも注力しており、時代の移り変わりに伴うニーズや価値観の多様化に合わせたリニューアル等を計画的に実施。約25,000人の会員さまにご愛顧頂いております。



東急ハーヴェストクラブ軽井沢&VIALA 施設概要

所在地	長野県北佐久郡軽井沢町長倉 291
交通	軽井沢駅より車約8分(約5km)、碓氷軽井沢I.Cより車約15分(約10km)
総客室数	176室(内10室は東急不動産保有分) <HVC対象客室> 127室 <VIALA対象客室> 49室
構造・規模	鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上2階地下2階建
敷地面積	50,078.90㎡(建築確認対象面積)
延床面積	22,676.46㎡
客室面積	<ハーヴェストクラブ> 42㎡~86㎡ <VIALA> 59㎡~108㎡
	※いずれもペットと泊まれるお部屋をご用意しております。
主要施設	ラウンジ、レストラン、ショップ、大浴場、家族風呂、屋内プール、エステサロン、駐車場他
設計会社	株式会社東急設計コンサルタント
施工会社	北野建設株式会社
開業	2018年7月20日

<位置図>



■ 東急ハーヴェストクラブの施設一覧

◎ 1室を12口（10口）に限定した少数オーナー制。

◎ 年間30枚（36枚）の宿泊利用券を発行（1泊1室につき1枚）。利用料金は1泊1名4,536円（税込・13歳以上）、3,132円（税込・4～12歳）。VIALAはルームチャージ制。

※京都鷹峯、熱海伊豆山、蓼科リゾート、裏磐梯グランデコ、那須 Retreat、

軽井沢以外は利用料金は1泊1名3,888円（税込・13歳以上）、2,808円（税込・4～12歳）。

◎ 無記名式のため、会員本人のご署名がある宿泊利用券をお持ちの方はどなたでもメンバー料金でご利用可。

施設名称	所在地	開業年月	客室数	最大募集口数
蓼科	長野県茅野市	1988年 6月	90室	900口
勝浦	千葉県勝浦市	1989年 7月	98室	980口
浜名湖	静岡県浜松市	1990年 7月	120室	1,200口
天城高原	静岡県伊豆市	1991年 4月	137室	1,200口
静波海岸	静岡県牧之原市	1991年 11月	50室	500口
鬼怒川	栃木県日光市	1992年 4月	150室	1,400口
南紀田辺	和歌山県田辺市	1993年 3月	187室	1,800口
伊東	静岡県伊東市	1993年 6月	165室	1,600口
斑尾	長野県上水内郡	1997年 12月	94室	900口
蓼科アネックス	長野県茅野市	1999年 3月	55室	600口
勝山	福井県勝山市	1999年 7月	100室	1,020口
山中湖マウント富士	山梨県南都留郡	1999年 7月	100室	1,200口
旧軽井沢	長野県北佐久郡	2001年 7月	156室	1,752口
蓼科リゾート	長野県茅野市	2002年 12月	78室	240口
箱根甲子園	神奈川県足柄下郡	2003年 12月	151室	1,692口
裏磐梯グランデコ	福島県耶麻郡	2004年 9月	103室	360口
那須	栃木県那須郡	2006年 10月	144室	1,680口
旧軽井沢アネックス	長野県北佐久郡	2007年 7月	26室	312口
VIALA 箱根翡翠	神奈川県足柄下郡	2008年 4月	70室	744口
有馬六彩	兵庫県神戸市北区	2010年 3月	107室	1,248口
VIALA annex 有馬六彩	兵庫県神戸市北区	2010年 3月	27室	300口
箱根明神平	神奈川県足柄下郡	2013年 7月	39室	456口
熱海伊豆山	静岡県熱海市	2013年 8月	133室	1,500口
VIALA annex 熱海伊豆山	静岡県熱海市	2013年 8月	49室	564口
京都鷹峯	京都府京都市	2014年 10月	89室	996口
VIALA annex 京都鷹峯	京都府京都市	2014年 10月	44室	444口
那須 Retreat	栃木県那須郡	2017年 10月	12室	144口
軽井沢	長野県北佐久郡	2018年 7月	127室	1,428口
VIALA annex 軽井沢	長野県北佐久郡	2018年 7月	49室	564口
合 計			2,750室	27,724口